

中学校給食検討特別委員会他都市調査報告書

会派名及び氏名 : 自由民主党 南 まさみ

実施年月日 : 平成29年 4月26日

視察都市等視察項目 : 中学校給食親子調理方式 (西東京市)

所 感 等

視察の目的及び概要 :

本市における中学校給食完全実施に向け、西東京市で行われている小学校の調理室で調理されたものを中学校に提供する親子調理方式を視察する。

基本方針及び実施概要 :

1. 親子調理方式

小学校と同様に質の高い給食が実施できる点や、合わせて、中・長期的なコスト計算において他の方式と比較して優れている点などが検証され決定した。

2. 家庭弁当との選択制

保護者の昼食に関する考え方や親子調理方式では、小学校の自校方式のようにアレルギー疾患のある生徒への細やかな対応には限界があるとの観点から、給食と家庭弁当を選択できる制度とした。

3. 小学校給食との同一献立

人的資源の確保及び質・内容を活かしつつ、限られた時間とスペースの中で実施するには、調理校である小学校と受入校となる中学校の献立を同一メニューとする方法が望ましいとの観点から判断した。

所 感：

西東京市では、中学校給食実施にあたり西東京市立学校給食運営審議会において検討を重ねた結果、現在の小学校の給食設備等の資源を最大限有効活用が図れるとの観点から、小学校（調理校）の給食室で調理されたものを中学校（受入校）に提供する親子調理方式と、アレルギー疾患の生徒や家庭における食事の考え方に配慮して、家庭からの弁当持参も可能とする「家庭弁当との選択制」を取り入れた事は、既に調布市で実施されているとはいえ、完全給食のあり方のひとつの方向性を指し示したものと思われる。

また、実施に当たり、限られたスペースや時間的な制約（配送にかかる時間）があるため、調理校の献立と同一とするが中学生に必要な栄養量摂取の観点から、提供する「食事の量」で調整する配慮や、給食を希望する生徒の保護者からの事前の申し込みを受ける前納制度導入など、本市が抱える給食費の未納者へ対する催促、徴収業務の手間を省く工夫がされているといえる。

因みに本市の小学校では、給食費は私費会計で校長管理のもと経理されているが、中学校給食実施にあたり、公会計で行うとの判断がされているものの、給食費の未納（滞納）の問題があり、公会計への移行では根本的問題の解決にはならないといえる。

「食」は生きるうえでの基本であり、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育むためには何よりも重要である。厳しい財政状況ではあるが、次代を担う子ども達が健やかに育つ環境づくりを推進し、安全安心に配慮し継続的に安定した給食事業を目指し、本市にとって最も相応しい中学校給食のあり方で実施されることを願う。